

第18回 百歳クラブ「名豊会」 ～尊敬と感謝の集い2025～



9月15日(月)敬老の日、アシステッドリビングホーム豊泉家桃山台4階ホールで、第18回となる「百歳クラブ『名豊会』」尊敬と感謝の集い2025を開催しました。

「人は百歳まで成長し続ける」という理念のもと、100歳以上の名誉会員様で構成される「百歳クラブ」は、2004年に発会。皆様のご長寿と健康を称え、またシニア世代の道標となることを願って、今年も開催することができました。

本年は、ご家族やご来賓の皆様をお招きし、桃山台メイン会場を含む4会場をZOOMでつなぐハイブリッド形式にて開催。43名の名誉会員様のうち、28名の方にご出席いただきました。

ご家族の皆様と共に、会場にいたる新たな演出により、より一層の臨場感と感動が会場を包みました。

中でも、112歳(椿寿)を迎えられた酒井文子様には、特別な記念品が贈られました。

また、豊泉家グループCEO 四代目桂春團治師匠からは、名誉会員代表 吉田サダ子様へ、100歳にちなんだ100本のバラの花束贈呈も行われ、心温まるひとときとなりました。

謝辞では、昨年に続き、名誉会員代表 山崎愛子様より、「本日ここに皆さんが元気に集いましたことを大変嬉しく思います。来年も新たな仲間とお会いできることを楽しみにしています」という、優しさと芯の強さを感じられるスピーチを頂戴しました。



開会にあたり、豊泉家グループ代表 田中成和会長より、100歳を迎えられた皆様の尊敬と感謝の言葉が述べられました。続いて、在オランダ王国総領事館総領事 マーク・カウバース様、三井住友銀行 備後町法人営業部長 古川 勝也様より、温かい祝辞をいただきました。

名誉会員の皆様には感謝状、フleur de 記念品を贈呈いたしました。



閉会の挨拶では、社会福祉法人 福祥福祉会 福井良幸理事長より、戦後80年、そして昭和100年という歴史の節目に対する深い感謝と敬意が述べられ、会場はあたたかな拍手に包まれました。

続いての祝賀パティは、ケアハウス豊泉家 桃山台6階のコミュニティホールにて開催いたしました。元国務大臣 野田寛成様による乾杯のご挨拶で開会いたしました。

続いて、エラスムス大学 ロッテルダムのモニク・ダニエルス様より、著書『LANGLEVEYN(長寿)』の出版を記念し、田中会長へ感謝の気持ちを込めて本の贈呈が行われました。



制作構想の初期段階からご協力いただいたことへの感謝と共に、長寿社会の未来を見据えたメッセージが伝えられる印象深いひとときとなりました。

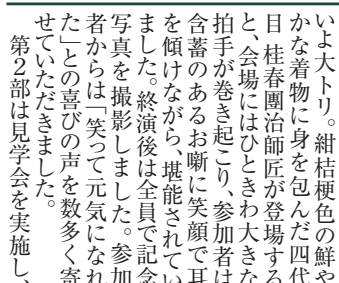
お食事には、豊食株式会社に「長寿メニュー」を皆様にご堪能いただきました。会場では、豊泉家 板里様の太神楽やサクソ奏者の皆様による演奏など、華やかなエンターテインメントもあり、ご家族の皆様とともに愉しい時間をお過ごしいただきました。

締めくくりに、豊泉家グループ 統合法人本部 樋口昌克本部長による中締めと万歳三唱。全員での万歳三唱の音が響き渡り、盛大な拍手の中で閉会となりました。

今後も、100歳以上の方100名と「万歳三唱」を共にできる日を目指して、豊泉家フロア一同、さらなるサービス向上に努めてまいります。

なお、「名豊会」の詳細は、各ホーム受付に設置しているHCC TIMES号外にてご覧いただけます。ぜひお手に取ってお読みください。

記者…東谷 祐子



9月21日(日)ケアハウス豊泉家 桃山台6階コミュニティホールにて、人気企画「介護×笑い」豊泉家寄席を開催いたしました。今回は地域の方々との交流を深めることを目的に、近隣の皆様を中心にご参加いただきました。

メインテーマの「介護×笑い」には介護疲れで笑うことから遠ざかっている方々に笑顔を届けた、そしてアクティビシアの方々は、認知症予防の観点から「笑い」を通して笑顔になつていただきました。そんな想いが込められています。声屋コミュニティで好評を博したことを受け開催された今回は、豊泉家グループCEO 四代目 桂春團治師匠を筆頭に、桂春雨様、桂咲之輔様、お囃子の中田まなみ様にご出演いただきました。

第1部は天満天神繁昌亭の人氣囃子の皆様に「落語会。お囃子の奥深さを解説するコーナー」で幕を開けました。お囃子は、囃家さんが高座へ上がる際の「出囃子」だけでなく怪談の演出としても使われるため、囃家さんとの阿吽の呼吸が大切だということを実演を交えて解説されていました。会場がすっかり落語会ムードになったところで、桂咲之輔様が登場。落語に大切な登場人物の演技分けをつかみに参加者の笑いを誘いました。続く桂春雨様は、巧妙な語り口で観衆を惹きつけます。そしていよいよ大トリ。紺桔梗色の鮮やかな着物を身に包んだ四代目桂春團治師匠が登場。大きな拍手が巻き起こり、参加者は含みのあるお囃子に笑顔で耳を傾けながら、堪能されていました。終演後は全員で記念写真を撮影しました。参加者からは「笑って元気になった」との喜びの声を数多く寄せていただきました。

第2部は見学会を実施し、



ケアハウス豊泉家 桃山台、デイサービスセンター 豊泉家 桃山台およびアシステッドリビングホーム 豊泉家 桃山台の見どころをグループに分かれてご覧いただきました。その場で引率のフロアに質問していただくことでご利用者目線の疑問点に気づくことができ、双方にとって大変有意義な機会となりました。また今回は、豊泉家のイベント公式LINEにご登録いただいた参加者に「レストランランチクーポン」をプレゼントいたしました。こちらも非常に好評をいただき、LINEという身近なツールを通して参加者との新たな絆を生み出せたこと、感謝しております。

これからも、地域に愛される豊泉家を目標に様々なイベントを企画してまいります。

記者…野口 裕子

Housenka Community Club since 2001.1.1

HCC TIMES

豊泉家
ASSISTED LIVING HOMES & COMMUNITIES

Vol.269
2025 11

豊泉家グループ 一般財団法人 SF 豊泉家
〒561-0881 大阪府豊中市中桜塚3-2-1
TEL:0120-294-998
<https://www.housenka.com/>
編集元: マーケティングセンター 瀬戸根 将成
2025.11.1 発行

「介護×笑い」の会を開催!

全員参加型 個客紹介プロジェクト

プロジェクト期間
2025年10月1日～2026年3月31日

**ご紹介特典
ご入居で
最大30万円
特別リワード支給!**

対象ホーム
アシステッドリビングホーム豊泉家 桃山台
ケアハウス豊泉家 桃山台
ケアハウス豊泉家 芦屋山手
ナーシングホーム豊泉家 芦屋山手
ケアハウス豊泉家 住之江

プロジェクトの詳細はコチラ
紹介フォームはコチラ▶



本セミナーを通して、2025年度経営戦略及び2030年度ビジョン達成に向けて、豊泉家グループの経営陣一人ひとりが果たすべきことについて改めて考える機会となりました。

2025年度、豊泉家グループは創立30周年を迎えました。これまでの歩みを振り返ってきたのは、一人ひとりのフェローの努力と支援にほかなりません。その感謝と今後の成長を願い、長年勤務されたフェローや各部門の役職フェロー111名を対象に、インドネシアバリ島への海外研修旅行が実施されました。3泊5日の日程で計6班、9月4日より順次出発しました。

バリ島では、約9割の島民がバリヒンドゥー教を信仰しており、折りの時間を大切に過ごす文化が根づいています。お酒をあまり飲まない風習や街角に並ぶ折りの供え物など、日本とは異なる日常が新鮮な驚きをもたせられました。また、交通事情も大きく異なり、信号待ちのたびに何十台ものバイクが並ぶ光景は圧巻。活気に満ちたエネルギーを肌で感じました。旅のハイライトの一つが「アジアカデミー」への訪問です。



同校は、日本での就職を目指すインドネシア各地の若者を受け入れ、日本語や文化、介護知識等を学ぶ教育機関です。第1班である私が訪れたのは休日でしたが、自習室は熱心に学ぶ学生たちが溢れていました。自らの未来を切り拓こうとする姿勢は「海外入財の意欲に感銘を受けた」との声が多く聞かれました。日本とインドネシア、双方の社会を支える「人財」を育てるこの取り組みは、グローバル時代における豊泉家の使命にも通じるものといえるでしょう。学生たちの真剣な眼差しに、参加者一同が新たな決意を胸にしました。



旅の中で感じたのは、現地の人々の温かさや親切心。言葉や文化の違いを超えた交流を通じて、グローバルな視野と多様性への理解が深まる貴重な体験となりました。



重なる体験となりました。また、普段関わることが少ないフェロー同士がドメインをまたいで交流を図る機会となった。この3泊5日を通じて、今後のグループとしての連携がより一層強化されるように感じました。

フェロー一同が新たな気づきと刺激を得た今回の研修旅行は、豊泉家グループの次なる30年への第歩となることでしょう。

記者…瀬戸根将成

30周年記念 海外研修旅行 in バリ島

10月1日(水)CCRC豊泉家 芦屋山手にて、「ACDメイン内定者懇親会」を開催いたしました。

第1部では、自己紹介を経て、内定者の皆様と先輩フェローが一緒に「働く上で、番大事にしたいこと」をテーマに、各グループで役割を決めながら活発な意見交換が行われました。豊泉家のフェロー像や現場の雰囲気、少しでもイメージしていただけるきっかけになったかと思えます。

続く第2部では、屋上に移動し、豊食株式会社様の皆様によるBBQをお愉しみいただきました。焼きたてのお肉や海鮮、お野菜などを囲みながら、第1部とはまた違ったリラックスした雰囲気の中で交流が深まりました。内定者の皆様から「学生時代に頑張ったこと」や「社会人になる前にやってみたいこと」などの



エピソードも披露され、終始和やかで賑やかなひとときとなりました。

内定者の皆様も素晴らしい社会人生活を迎えられるよう、全力でサポートしてまいります。そして、皆様と一緒に働ける日を心から楽しみにしております。

記者…東谷 祐子

9月9日(火)京町堀コミュニティにて第6回成和塾が開催されました。

今回は「2025年・2026年達成目標について」をテーマに、目標を計画として形に落とし込むことに挑戦しました。マイルストーンやKPIをどう設定するのか、取り組みをいかに深く掘り下げるかなど多くの課題に直面し、計画を考える力を養う大切な過程を学ぶ時間となりました。

また「成和塾でチームとして成し遂げたいプラン」では、Aチームは「人財育成強化」Bチームは「新規事業」をテーマにそれぞれのプランを発表しました。

田中成和塾長より「事業は人なり」を念頭に計画を立てることの大切さや、チーム経営の在り方を考える中で、役割や意思決定の重要性についてお話がありました。今回得られた気付きをもとに、これからも新たな課題に果



敢に挑戦し続ける姿勢を大切にしていきたいです。

学びを活かして現場に還元し、未来志向で組織全体の成長を担ってほしい。仲間とともに成長し続けてまいります。

記者…中田 雅美

2025年9月度 豊泉家大賞・フェロー大賞月間賞

豊泉家フェロー大賞

夏季のチャレンジド アウトドア・フィールドマリンプログラムでは安全第2を徹底し、各所との調整を通じて安心・円滑な運営を実現しました。

また、チャレンジドのフロアホッケー大会では、広島遠征という厳しい環境の中、入念な準備を重ねた結果「デビューB」での優勝という素晴らしい成果を収めました。

さらに地域の「新千里東町夏祭り」では、地域自治会による開催が危ぶまれる状況下において、率先して企画運営に携わり地域を支援するなど、安全管理計画性・地域貢献といった点が高く評価されました。



NPO法人 SG博友会
豊泉家コミュニティクラブ
浅井 隆太チームスリー

第40回豊泉家トプラマネジメントセミナー

開催日…10月4日(土)
会場…アシステッドリビングホーム 豊泉家 桃山台 4階ホール

豊泉家トプラマネジメントセミナーは「経営幹部の育成」「経営方針の浸透」「提案型・イノベーション」の3つを目的として開催しております。

始めに、豊泉家グループ代表 田中成和会長による開会挨拶では、40回を迎え改めて本セミナーの目的や考え方に沿って、またこれからの30年に向けての経営戦略についてお話しいただきました。続いて各ドメインの代表からは、前回発表以降の進捗や、2030年に向けた新たな取り組みなど経営方針に関する発表があり、各ドメインの参加者も含めた意見交換が行われました。

第5回にんちしょうサロン
開催(若屋)

記者・東谷 祐子

9月20日(土) CCR C豊泉家若屋山手のデイルームにて「第5回にんちしょうサロン」を開催いたしました。当日は、地域の皆様、ご入居者ご家族に加え、若屋市の補聴器専門店「ほろやうき」のR様にもご参加いただきました。難聴者の聞こえ方を体験できる「聴リアルVR体験」や、音の神経衰弱(たまごゲーム)をご提供いただき、ご参加の皆様は聴覚の理解を深めていただきました。また「Ashiya Design」様には、おしやれに着せ替え可能な補聴器カバーを展示いただき、補聴器へのポジティブな印象を広げる一助となりました。



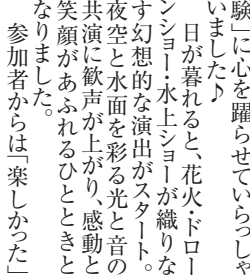
記者・東谷 祐子

9月20日(土) 立命館いばらきフューチャープラザにて「2025年度北大阪ほうせんか病院地域連携会」を開催いたしました。地域の医療機関や関係者の皆様にも多数ご参加いただき、盛況のうちに執り行われました。総合司会は北大阪ほうせんか病院 富士 武史院長が務め、開会にあたり茨木市医師会 副会長 西部 俊三先生より開会のご挨拶を賜りました。



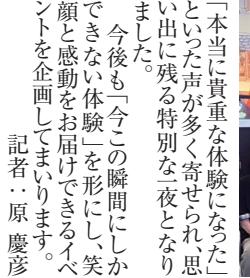
記者・東谷 祐子

豊泉家では、ガンバ大阪とパートナーシップを結び「人生活をもっと楽しめる社会」の実現に向けて挑戦しています。その一環として行っているのが、独自の取り組み「Assisted Supporers (Assisapo)」です。介護や支援が必要な方も、スポーツ観戦を通じて応援の喜びや非日常の高揚感を体験できる環境を創出しています。



記者・東谷 祐子

9月30日(火) 大阪関西万博オランダパビリオンにて「LANG LEVEN (長寿)」出版記念セレモニーが開催され、豊泉家グループも参加しました。本書は、大阪オランダ王国総領事館 マーク・カウバース 総領事の奥様であり、エラスムス大学 ロッテルダム のモニーク・タニエルス様が手掛けられました。



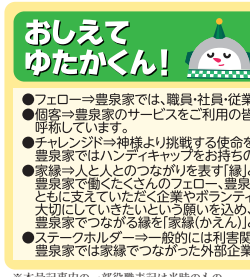
記者・東谷 祐子

9月30日(火) 各コミュニティ合同企画として、オアションイベント「大阪関西万博堪能ツアー」を開催しました。55年ぶりに開催される大阪関西万博を、皆様により身近に感じていただきたいという想いから企画した本イベント。当日は天候にも恵まれ、特別感あふれる時間となりました。



記者・東谷 祐子

「本場に貴重な体験になった」といった声が多く寄せられ、思い出に残る特別な夜となりました。今後も「今この瞬間にしかできない体験」を形にし、笑顔と感動をお届けできるイベントを企画してまいります。



記者・東谷 祐子

「おしえてゆたかくん!」豊泉家で特別な想いを持って使用している言葉【豊泉家ワード】をゆたかくんが解説いたします!

- フェロー→豊泉家では、職員・社員・従業員と問わず、同志という想いを込め、フェローと呼んでいます。
- 顧客→豊泉家のサービスをご利用の皆様。豊泉家ではパーソナルを重んじ、お客様のことを「個客」と呼称しています。
- チャレンジ→神様より挑戦する使命を与えられた人々たちという意味です。豊泉家ではハンディキャップをお持ちの方を「チャレンジ」と呼称しています。
- 家縁→人と人とのつながりを表す「縁」という言葉。豊泉家で働くたくさんのフェロー、豊泉家を利用してくださる個客の皆様、ともに支えていただく企業やボランティアの皆様との「御縁」を大切にしていきたいという願いを込め、豊泉家でつながる縁を「家縁(ゆえん)」と呼んでいます。
- スークホルダー→一般的には利害関係者の総称ですが、豊泉家では家縁でつながった外部企業および個人を意味しています。

※本号記事内の一部掲載表記は当時のもの

9月20日(土) 立命館いばらきフューチャープラザにて「2025年度北大阪ほうせんか病院地域連携会」を開催いたしました。地域の医療機関や関係者の皆様にも多数ご参加いただき、盛況のうちに執り行われました。総合司会は北大阪ほうせんか病院 富士 武史院長が務め、開会にあたり茨木市医師会 副会長 西部 俊三先生より開会のご挨拶を賜りました。

第1部の講演会では、脊椎外科部長 信貴 経夫医師、糖尿病内科 佐藤 智己医師、泌尿器科部長 内田 欽也医師、副院長 後藤 葉一医師が、臨床経験と最新の治療動向を踏まえた講演を行いました。第2部の懇親会は立食形式で行われ、地域の医療機関の皆様と交流を深める有意義な場となりました。今後も地域との連携をさらに強化し、より良い医療サービスの提供に努めてまいります。

9月27日(土) アシサポ企画の第7弾として、桃山台コミュニティのご入居者とともに、パナソニックスタジアム吹田で開催されたガンバ大阪V S アルビレックス新潟戦を観戦しました。会場では唐揚げやたこ焼きなどのスタジアムグルメを堪能し、恒例のスタメン予想でも大いに盛り上がり、試合は「勝利」で幕を閉じました。試合は「勝利」で幕を閉じました。試合は「勝利」で幕を閉じました。

9月30日(火) 大阪関西万博オランダパビリオンにて「LANG LEVEN (長寿)」出版記念セレモニーが開催され、豊泉家グループも参加しました。本書は、大阪オランダ王国総領事館 マーク・カウバース 総領事の奥様であり、エラスムス大学 ロッテルダム のモニーク・タニエルス様が手掛けられました。

豊泉家グループとも深いご縁があります。当日は、本書に登場する方々やご家族が出席され、豊泉家グループからは代表である田中 成和会長、また書籍に紹介され豊泉家のご入居者でもある山崎 愛子様も参加されました。開会挨拶でモニーク様は「本書を通じて高齢の方々に輝かせ、若い世代にインスピレーションを与えたい。年を重ねることを前向きに捉えられるきっかけに」と想いを語られました。続いて三世代による対談や歌の披露が行われ、会場は和やかな雰囲気になりました。

メインの記念贈呈式では、山崎様が最年長の来賓代表として書籍を受贈し、本書を通じて年齢を重ねることは喜びであり、人生は美しいと再認識した」と述べられました。また、制作初期から支援を続けてきた豊泉家グループの田中会長にも書籍が贈呈され「長寿の価値や自立・自由生きがいの大切さが広く伝わることを願う」と述べられました。セレモニーの最後には田中 崇博代表理事によるオランダ語での「大阪締め」で幕を閉じ、盛会のうちに終了しました。本セレモニーを通じて、長寿や日々の暮らしの大切さを改めて考える時間となりました。

11月 豊泉家グループからの第13回棒サッカー大阪大会のお知らせ

11/21(金) 豊泉家千里体育館にて開催予定

100歳を超えても、要支援・要介護状態になってもハンディキャップを有しても続けられる生涯ユニバーサルスポーツ

JBA 一般社団法人日本棒サッカー協会